

私のすすめるこの1冊

佐藤 美幸(発達障害学科 准教授)

『問いつめられたパパとママの本』

伊丹 十三 (著)

学生時代、本屋に寄って面白そうな本はないかと探るのが好きでした。たまたま『問いつめられたパパとママの本』という題名にひかれて本を手にとると、表紙に「夜ニナルトナゼネムラナクチャイケナイ?」「ネコノ眼ハナゼ光ルノ?」と書いてあります。こんなことを子どもに聞かれたらきちんと答えることができるだろうかという思いと、伊丹十三がどんな答えを書くのだろうかという興味で本を持ってレジへと向かったのです。

学生の皆さんは伊丹十三という名前を聞いてもあまりピンと来ないかもしれませんが、昔の邦画が好きな人であれば、「マルサの女」や「お葬式」という映画を見たことがあるのではないのでしょうか。著者はもともと俳優として活動し、その後映画監督に転身した人で、ちょうど私が子どもの頃に映画が大ヒットしていました。このコーナーで書評を書くために改めて著者の経歴を調べたところ、京都師範学校男子部附属小学校(現在の京都教育大学附属京都小中学校)に在籍していた時期があったようです。

本書には他にも「空ハナゼ青イノ?」「才金ヲ日本銀行デツクッテルナラナゼドンドンオ札ヲスッテ貧乏ナ人ニアゲナイノ?」など40の素朴な疑問とそれに対する著者の答えが書いてあります。さて、みなさんだったらどんな風に答えますか?

この本を手にとったとき、私は大学の倫理学の授業で聞いた先生の雑談を思い出していました。子ども

の頃お母さんに疑問に思ったことを「なんで?」「なんで?」と聞いていたら、子どもはまだ知らないことも多いから今はわからないかもしれないけれど、大人になっているんな知識を得たらわかるかもしれないから、その疑問をノートに書いておきなさいと言われて「なんでノート」を作ったという話でした。残念ながら倫理学の授業内容はまったく覚えていなかったのですが、「なんでノート」の話はとても印象に残っていました。

実際に本を読んでもと俳優・映画監督である著者は、素朴な疑問に対してファンタジーではなく驚くほど科学的に答えています。たとえば、「ゴムマリハドウシテハズム?」という疑問に対して「弾性」や「落下速度」という言葉を使って説明しています。子どもの素朴な疑問は知識に対する欲求です。私たち大人が子どもの知的欲求に応えるためには、大人自身が身の回りに起こる現象を面白いと思えていないといけません。著者は現象の面白さを知るためには科学的知識が役に立つと考えているのです。

そして、本書の著者も倫理学の先生のお母さんも、子どもの素朴な疑問に対してごまかしや逃げの態度をとることなく、しっかり向き合おうとしています。それは、著者の言う「知識に対する、憧れと恐れ」を知っているからこそできることなのかもしれません。

※新潮文庫版は絶版となり、現在は中公文庫から出版されています。

夏季休業に伴う長期貸出について

学部生：7月27日(水)～9月20日(火)

院生・教職員：7月13日(水)～9月6日(火)

【返却期限日】2016年10月5日(水)

※卒業・修了予定者は9月10日(土)まで

※視聴覚資料を除く

有効期限の延長について

2016年9月末で本学を修了する予定の方(科目等履修生・研究生・特別聴講生を含む)は、貸出可能な有効期限が9月10日(土)までとなっているため、返却期限日も9月10日(土)になっています。資料を借りている方は、忘れずに返却してください。

ただし、9月10日(土)以降も研究を継続する場合には限り、有効期限を9月30日(金)まで延長することが可能です。カウンターにて手続きを申し込んで下さい。なお、図書館への入館・閲覧については、9月30日(金)まで可能です(手続き不要)

論文準備は進んでいますか？

今年度卒業・修了予定の方は卒業論文・修士論文の準備を進めている事かと思えます。資料閲覧やパソコン利用など、図書館をおおいに活用してください。必要な資料が図書館になれば他大学から取り寄せたりリクエストをすることもできますが、思っている以上に時間がかかることがあります。申込は余裕をもってお願いします！

学修相談カウンター 8・9月はお休みです

10月には再開予定ですので、どんどん利用してください！



- 『コンビニコーヒーは、なぜ高級ホテルより美味しいのか』川島良彰著、ポプラ社
- 『受験のシンデレラ』和田秀樹著、小学館

※貸出できます。
貸出中の場合は予約
してください。



リクエストと投票で話題の本を読もう！

学習研究以外のリクエスト本を一定期間掲示し、皆さんの投票で購入する本を決定するリクエスト企画を始めました！

- リクエストは随時受け付けています
 - ・学習研究目的のものは原則として購入します。
 - ・学習研究以外の目的のものは、毎月10日までに受け付けた分を15日～月末に館内で投票し、票の多かった本を購入します。(結果によっては購入できないこともあります。)
- リクエストや投票にどんどん参加してください！

※8月・9月の投票期間は **延長しました！**
8月17日(水)～9月30日(金)です。

図書館1階渡り廊下に
掲示しています。

読みたい本に
投票しよう！
(1日1ポイントまで)



- 7月の投票で購入した本を北館2階に並べています。

…こんな本を購入しました…

- ・『深町なか画集 ほのぼのログ ～大切なきみへ』深町なかイラスト、一迅社
- ・『言ってはいけないクソバイス』犬山紙子著、ポプラ社
- ・『活版印刷三日月堂：星たちの葉』ほしおさなえ著、ポプラ社
- ・『バッテリー』1巻、あさのあつこ著、青幻舎
- ・『気がつけばチェーン店ばかりでメシを食べている』村瀬秀信著、講談社
- ・『陸王』池井戸潤著、集英社
- ・『朝が来る』辻村深月著、文藝春秋
- ・『19歳の小学生 学校へ行けてよかった』久郷ボンナレット著、メディアアイランド



図書館員のつよよき(17)

～夏休みは雑誌の業務がはかどります～

毎年学生さんの少なくなる夏休みに合わせて、図書館の雑誌の整理をしています。新着雑誌コーナーの雑誌を書庫に移動したり、製本作業に出す準備をしたり、保存年限を過ぎたものを除却したりと、実はいろいろな作業が行われているのです。年1回の業務なので、この準備を進めていると「ああ～夏だなあ～」と感じるこの頃です。

雑誌の製本作業について

8月から10月初旬(予定)まで、南館1階・西館3階にある雑誌のうち、2014年～2015年に発行されたものを中心に、一部の巻号が製本作業のため利用できません。製本後はすべて西館3階(書庫)に並べますので、そちらをご利用ください。

※作業中は製本対象リストを図書館ホームページに掲載する予定です。

えほんのもり (場所: 児童書コーナー)

今月の読み聞かせ会は、

9月26日(月) 15:00～ です。

『11ぴきのねこ』 作: 馬場 のぼる 出版社: こぐま社

今月の
絵本カードは
こちら!



★あらすじ★

とらねこ大将と10ぴきの仲間の愉快な冒険物語。このお話しは、腹ぺこねこたちが湖に行くところからはじまります。すると…かいぶつみたいな おさかな発見!!!

※絵本カードは幼児教育科の学生が作成しています。このほかにも毎月かわいいカードが飾られていますので、ぜひ児童書コーナーに見に来てください。

【報告】企画展示室にて開催されました!

◆美術領域専攻1回生 企画展「がんばっ展」

8月1日(月)～8月19日(金)

美術領域専攻1回生が作品を展示しました。8月17日(水)のオープンキャンパスでは多くの見学者がありました。



発表の場に、どんどん活用してくださいね。

◆授業「博物館概論」より

展示の様子 →



◆平成28年度 京都教育大学公開講座 楽しい塑造教室 作品展

8月23日(火)～8月26日(金)

←今年度の「まなびの森賞」
松田貞雄さんの作品「青春の憂い」

—開催中—

- ◆第5回 京都・大学ミュージアム連携スタンプラリー
【期間】2016年8月25日(木)～12月3日(土)
今年も大学ミュージアムへ! 京都の大学ミュージアムをまわって知と美と素敵な景品を手にとろう!
- ◆「考古もいっぱい! 大学は宝箱! 京都・大学ミュージアム連携合同展」
【期間】8月25日(木)～9月18日(日)
【場所】ハリス理化学館同志社ギャラリー
(同志社大学今出川キャンパス)

教育資料館 まなびの森ミュージアム

今月の逸品「チョウザメ」

詳しくはホームページの「今月の逸品」コーナーをご覧ください。展示をしていますので、ぜひミュージアムへ来てくださいね!



詳しくは…教育資料館 まなびの森ミュージアム
<http://manabinomori.kyokyo-u.ac.jp/manabinomori.html>

今回の執筆者 **札埜 和男**(附属高校 教諭)

方言教育の現在と未来
— 紀要論文「関西における方言教育の実践紹介及びその特徴について」より —

札埜 和男

京都教育大学紀要. 2016, No.128, pp.119-129

京都に勤め出して間もない頃、小論文で生徒が普通に「～しはる」と書いて驚いたことがあります。関西弁の魅力にはまったことがきっかけで、方言授業を実践してきましたが、関西の教育現場でどんな方言教育が行われ、共通する特徴は何かを明らかにしたのが今回の論文です。

新聞記事や教育委員会等からの情報を基に電話やメールで問い合わせた結果、14例が集まりました。大阪のある小学校では、太夫や落語家から手ほどきを受け文楽や落語の体験学習を通じて自然に大阪弁を学んでいます。「大阪文学演習」という学校設定科目で大阪弁をカリキュラムとして位置づけている高校もありました。兵庫県淡路島の元教員は『淡路弁徒然草』を出版し、淡路弁で古文を読み解く授業をしていました。和歌山は行政主導で「わかやまことばの探検隊」を県内中高生で結成し方言調査をしたことがあります。

実践方法は多様でしたが、共通するのは心情的教材に留まっていることです。方言の見直しはアイデンティティの再確認や誇りに繋がりますが、相対化する視点がないと自文化中心主義に陥る危険を伴います。関西弁が全国で通用するのは東京の言葉並みに「権力」を持つからです。関西弁も支配者側の言葉であることに変わりはありません。また学習指導要領では共通語と方言を使い分けられるよう指導するとありますが、本当に使い分ける必要はあるのでしょうか。そんな風に方言を通じて「当たり前」を疑う思考を養ってこそ方言教育は次の段階に進むのではないかと考えます。

今回の論文は3部作の第1作目です。第2作目は本学『国文学会誌』第44号(pp.11-24)に、第3作目は日本方言研究会編『方言の研究2』(ひつじ書房今秋出版)に掲載されます。ご興味を持って頂けたら嬉しいです。

※本タイトルの論文は京都教育大学紀要128号に掲載されています。

※京都教育大学リポトリ「クエリ(KUERe)の森」<http://ir.kyokyo-u.ac.jp/dspace/>にも公開されています。

開館日程 □9:00-21:00 ■9:00-17:00

■学内者のみ(9:00~17:00) ■休館(CLOSED)

2016年9月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

9/7 館内整理日

9/17 大学院入試(学外者来館不可)

2016年10月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

10/3 後期授業開始

10/15 編入学試験(学外者来館不可)

●京都教育大学附属図書館ホームページ

<http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/>



●携帯版図書館ホームページ (QRコード)

<http://tosh02.kyokyo-u.ac.jp/webopac/mobtopmnu.do>

京教図書館 News No.192(2016年9月号)

発行日:平成28年9月1日

編集発行:京都教育大学附属図書館

問い合わせ先:library@kyokyo-u.ac.jp